

月刊moritmirai

モリトミライ

12
2023.06

最終回

この紙面の読み方

- この面をそのまま二つ折りにします。
- さらに上半分の面が表になるように四つ折りにします。
- 四つ折りにすることで冊子状の読み物になります。ファイルなどに挟んで保存してください。

月刊moritmiraiは今回で終了します。
森に関する話題は今後も随時、特集紙面などで紹介する予定です。

本紙面は山梨の森林サイト「moritmirai」でもご覧いただけます
企画制作：山梨日日新聞社広告局



moritmirai.com

illustration : オエムシ

森の未来は人の未来は

コンクリート、プラスチック、石油、電気などさまざまな材料、エネルギー源が誕生したことによって活用機会が減少した木材。しかし、近年は技術開発や発想の転換による新たな活用法が誕生している。

これまで積極的に活用されてこなかった森林の活用策を探る住民グループもあり、森林資源の持続可能性を意識した動きが広がる。「森の未来は、人の未来」。

未来を豊かにしようとする取り組みを紹介する。



「ゴオン・ゴオン」。南部町の公営スポーツセンター隣接地に建つ発電所。断続的に響く重低音に混ざって、「ゴーン」と時折軽い音が聞こえてくる。正体は何かと注意深く施設内を見渡すと、ひととき大きな機械の下部から小さな黒い塊が排出されている。「これはバイオ炭と言います。環境を守りなが



1
2

4
3

「バイオ炭」は、木材を熱分解して生成された炭素豊富な物質で、土壌改良や肥料効果がある。また、発電時の排気ガスに含まれる二酸化炭素を吸収し、炭素固定効果も期待されている。

「バイオ炭」は、木材を熱分解して生成された炭素豊富な物質で、土壌改良や肥料効果がある。また、発電時の排気ガスに含まれる二酸化炭素を吸収し、炭素固定効果も期待されている。



「発電所やバイオ炭でつくる森の未来を明るくしたい」と話す長下の竹下光雄課長(左)とクリン・ソウの樋口真之代表(右) = 南部町内

バイオ炭

1つ解説

木や竹、鶏糞などを炭化した固形物。木材を低温状態で加熱するとバイオ炭が生成される。土壌改良の効果が期待されている。

木や竹、鶏糞などを炭化した固形物。木材を低温状態で加熱するとバイオ炭が生成される。土壌改良の効果が期待されている。



発電所で生成されたバイオ炭

「バイオ炭」は、木材を熱分解して生成された炭素豊富な物質で、土壌改良や肥料効果がある。また、発電時の排気ガスに含まれる二酸化炭素を吸収し、炭素固定効果も期待されている。

「バイオ炭」は、木材を熱分解して生成された炭素豊富な物質で、土壌改良や肥料効果がある。また、発電時の排気ガスに含まれる二酸化炭素を吸収し、炭素固定効果も期待されている。



発電所が使用している未利用材。曲がった材、内部が朽ちていたり、従来はほとんど無価値であった。 = 南部町内



バイオ炭が排出される。発電所の一部。機械の下部から



バイオ炭が排出される。発電所の一部。機械の下部から

技術、発想、広がる可能性

「バイオ炭」は、木材を熱分解して生成された炭素豊富な物質で、土壌改良や肥料効果がある。また、発電時の排気ガスに含まれる二酸化炭素を吸収し、炭素固定効果も期待されている。

「バイオ炭」は、木材を熱分解して生成された炭素豊富な物質で、土壌改良や肥料効果がある。また、発電時の排気ガスに含まれる二酸化炭素を吸収し、炭素固定効果も期待されている。

moritmirai